

キャラクター名  
うてな

プレイヤー名

シンドローム	モルフェウス ブラム=ストーカー		ワークス	レネゲイドビーイングB	カヴァー	和装の乙女
	オルクス		年齢	10くらい	性別	女型
オプション	覚醒	無知	衝動	解放	初期侵食率	38%
出自	最後の希望		経験	死と再生	邂逅	自身

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	25
肉体	2	0	0			2	行動値	11
感覚	4	1	0			5	(非装備時)	11
精神	1	0	0			1	戦闘移動	16
社会	1	0	0			1	全力移動	32

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	1		射撃	6		RC			交渉		
回避			知覚	1		意志	1		調達	2	
運転:			芸術:			知識: 植物	1		情報: UGN	3	
運転:			芸術:			知識:			情報: ウェブ	1	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
▼武器		0				
ハンドレッドガンズ	射撃	5r+6		8		
		0				
▼マイナー		0				

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	

合計装甲: 0    合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ	消費
触媒《カタリスト》	P	N		
仲間	P 懐旧	N 憐憫		
坂月那岐	P 好意	N 劣等感		
"イブ"	P 幸福感	N 悔悟		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 6    残り財産P:

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果:	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果:	コスト分のHPで復活							
ヒューズ`ネバー`	1	-	常時	至近	自身	自動	RB	
効果:	衝動判定D+[Lv] 侵蝕率+5							
O:プラント	5	2	マイナー	至近	自身	自動	RB	
効果:	S間【感覚】判定達成値+[Lv*2]							
ハンドレッドガンズ	4	3	マイナー	至近	自身	自動	-	
効果:	武器作成							
C:オルクス	2	2	Xジャー	-	-	シンドローム	-	
効果:	C値-[Lv]/min7							
滅びの一矢	4	2	Xジャー	武器	-	白兵/射撃	-	
効果:	D+[Lv+1] HP-2							
赫き弾	4	2	Xジャー	武器	-	射撃	-	
効果:	攻撃力+[Lv*2] HP-2							
形なき剣	1	2	Xジャー	武器	-	白兵/射撃	-	
効果:	ドッジD-[Lv]							
大地の加護	4	2	Xジャー	-	-	シンドローム	-	
効果:	攻撃力+[Lv*2]							
かぐわしき鮮血	1		Xジャー	至近	自身	自動		
効果:	血の匂いで個人を探し出す							
成分分析	1		Xジャー	至近	自身	自動		
効果:	物体の構成要素を割り出す							
成長促進	1		Xジャー	視界	シーン選択	自動		
効果:	領域内の植物を成長させる							
仕組まれた幸運	1		Xジャー	至近	自身	自動		
効果:	領域内で限定的な幸運を起こす							
効果:								

・パーソナリティ  
とある廃屋の庭に植わった樁のレネゲイドビーイング。美しい赤毛の乙女。  
10年ほど前から覚醒していたらしいが、ビーイングとしての自我が目覚めたのはここ3,4年の話。  
生まれた時から人の傍で暮らしていたため、感性はかなり現代の人間寄り。スマホも使える。まだまだ世間知らずな部分は多い。  
水や日の光が好き。火はやや苦手。

・能力  
モルフェウス、ブラム=ストーカー、オルクスのトライブリード。  
領域を張り、枝と血液でできた矢を木の大司で放つ。矢は領域内の力場によって自由自在に軌道を変え、敵を穿つ。  
彼女の領域内にはほんのりと木と花の香りが漂う。

本体のある廃屋にはUGNエージェントの家族が住んでいた。  
ある日FHの襲撃に遭い、一家は全滅。当時庭にあった古樁は枯れてしまっていたが、死亡したオーヴァードたちの血を吸い上げ見事に返り咲いたという。その噂が「吸血樁の怪」の噂となり、レネゲイドビーイングとして形作られた。  
出生上、オリジンはレジェンドに近いが、行使するエフェクトなどからプラントに分類されている。

因みに人の血を吸って返り咲いたという話は半分嘘で半分本当。  
死に際に樁の花が咲いているところを見たいと願った家族の思い(と血液)が、レネゲイドビーイングを生み花を咲かせたのが真実である。

・モチーフ  
春の台  
古樁の怪